



# 麻布幼稚園だより 3月号

平成30年2月28日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 『平成29年度の最後に』

園長 大島 美知代

2月には最後の大きな参観の機会として「こども会」を実施しました。それぞれのご家庭から励ましの言葉やご要望、ご感想などたくさんいただき、感謝いたします。保護者からのご意見を来年度の「こども会」はもちろん、教育活動全体に生かしていきます。

今年度も様々な教育の場面をご参観いただき、ご意見のお寄せいただき、感謝しております。ありがとうございました。

さて、とうとう平成29年度の最後の月となりました。「こども会」を終えて園児たちは進級や修了にむけてすぐに動き出しています。毎日年長組が行っていた当番活動、誕生会の司会の仕事などを年中組に引き継ぐこと、年中組も仕事のやり方、そしてその時の態度や声の出し方を見て学ぶことを行っています。年少組もこの3月にはもうすぐ年下の園児が入ってくることを感じての活動をしていくことにしています。

2月下旬、年長組は近所の横川記念公園（通称カニ公園）に年少組を連れて行きました。2人組になって園と公園の往復を連れて歩きました。それだけでなく、公園で遊ぶ間中、目を離さないように追いかけたり、ブランコに乗りたいたえばブランコを押したり、一緒に滑り台を滑ったり、手をポケットに入れて「出すんだよ」と優しく声をかけたり、と甲斐甲斐しくお世話をしていました。3年前このきく組がもも組だった時、このようにやさしく接してもらったのでした。本園の教育活動の中で、このように自分たちが受けた温かい気持ちを下の学年に手渡す、良き文化が根付いていると思いました。

幼稚園で生活した約3年間、私たち教職員は幼児が主体的に取り組む遊びと生活の中で基本的な生活習慣を身に付け、規範意識も培えるように考え、指導してきました。園児たちは保護者から離れ、「幼稚園」という集団生活の場で安心して過ごす中で、周囲の状況を捉え、感じ、自分がどうしたらより良いかを判断し、より良くなるために行動し、言葉を発し、自分で考えて生活できるようになってきます。教職員から教えられたこと、友達と行動を見て感じたこと、物事や自然と関わって感じたこと、いろいろなことに主体的に向き合い、活動できるようになっています。集団で遊ぶ中で課題が見付かれば一緒に課題を解決できるようになりつつあります。

園児たちはこれからも家庭と幼稚園、地域の中で安心・安全な環境の中でますます心も体も大きくなっていくことでしょう。園児を取り巻く我々大人たちが協力していきましょう。

1年間の育児、大変だったと思います。元気で幼稚園に通わせてくれて感謝です。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。